

女性の相談窓口

2022年度相談日

ひとりで悩まないで話してみませんか？

第1月曜 第2・4火曜 第3土曜

悩みや不安があって、誰かに話したいときはありませんか？
専門の女性カウンセラーが、心の整理のお手伝いをします

11月	7日	8・22日	19日
12月	5日	13・27日	17日
1月	16日	10・24日	21日
2月	6日	14・28日	18日
3月	6日	14・28日	18日

実施日時

第1月曜	午後1時～午後4時
第2火曜	
第3土曜	午前9時30分～午後0時30分
第4火曜	午前10時30分～午後1時30分

祝日の時は日程を変更します(上表下線)

実施場所 きらっとぴあ
予約・問合せ 072-247-7047

相談時間は1組50分まで(無料)

相談員 フェミニストカウンセラー(女性)

- ・匿名でも予約・相談できます
- ・秘密は厳守します

〇いろいろ悩んでいるけど、どこに相談したらいいかわからないとき

「女性のためのよりそい☎ホットライン」へ
まずお電話してみませんか？

どんな些細なことでも大丈夫です！
お話をすることで解決の糸口に繋がるかも？
専門の女性相談員がお話をお聴きします。
秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。
(無料)

相談専用電話
090-2112-3970

(こちらにお電話ください。
折り返しお電話させていただきます。)

実施期間 2023年3月31日まで
年末年始(12/29～1/5)、祝日は休み
相談日時 毎月第2・4月曜日 午前10時～午後5時
第1・3火曜日 午前10時～午後5時
受付は午後4時30分まで

※予約不要
詳細についてはきらっとぴあにお問い合わせください

ひとりで悩んでいませんか？ひみつは守られます。
相談は無料です。私たちに話してみませんか？

パートナーからの暴力の相談(パートナーをこわいと感じていませんか？)

大阪狭山市役所の相談窓口

●DV・性犯罪・性暴力にお悩みの方の相談

DV相談専用ダイヤル **072-349-8819**(担当グループへ直通)
相談日時 平日午前9時30分～午後5時30分

大阪府女性相談センター

06-6946-7890 24時間・365日または、**#8008**(はれれば)

内閣府DV相談+(プラス) **0120-279-889** 24時間

●性暴力に関する相談

性暴力救援センター・大阪(SACHICO(サチコ))

072-330-0799 24時間・365日対応

性犯罪被害相談窓口(大阪府警本部)

0120-548-110(または**#8103**) 24時間・365日

大阪狭山市男女共同参画推進センター きらっとぴあ

〒589-0005 大阪狭山市狭山一丁目862-5
大阪狭山市役所南館1階

電話・FAX 072-247-7047

E-Mail os-gender@water.ocn.ne.jp

きらっとぴあのHPです！

<https://os-gender.jimdofree.com/>



HP、QRコード

※この施設は、特定非営利活動法人ふえみばる塚と大阪狭山市が
協働事業として事業運営しています

◆利用時間◆

平日 午前10時～午後5時

土曜 午前 9時～午後0時 (第1.3)



きらっとぴあ つうしん Vol.43

Vol.43

大阪狭山市男女共同参画推進センター
きらっとぴあ 2022年11月発行



LGBTを知ろう！！

今年6月～9月に実施した「きらっとぴあアンバサダー養成講座」で、オニイタレントとして活躍中の竹紫春翔(ちくしはると)さんに来ていただき、「LGBT 当事者がみんなに知ってほしいこと」というテーマでお話をさせていただきました。当事者からのメッセージは、説得力を持って、参加者の皆さんに大きな感動を与えてくださいました。

講座後、講師の竹紫春翔さんにインタビューに答えていただきました。



Q：竹紫さんが、この活動で一番伝えたいこと何ですか？

A：「個性」を大切にしてほしいということです。
一人一人が自分自身の個性を大切に、そして相手の個性も尊重しあえる世の中であってほしいと思います。いろんな人がいていい。そして、誰もそれを否定しない、そんな世の中です。僕自身、たくさんの方に助けてもらいここまで生きて来ました。だからこそ今度は僕が誰かを助ける番だと思って活動しています。

Q：絵本を出版することになったキッカケは何ですか？そして、その想いをお聞かせください。

A：僕自身の話しを聞いて、少しでも勇気や希望を持ってもらえたらと思いました。
そして、たくさんの人に届けるには、絵本がいいと思いました。年齢に関係なく、幅広く手に取ってもらえます。小さな子どもたちが文章を理解できなくても、絵でわかるようにしています。大きくなった時に理解ができたらいいなと思っています。
そして、この「せかいにひとりだけのぼく」という絵本が家の本棚にあったら、子どもは「親も理解してくれている」と、カミングアウトがしやすくなるのでは？と思い、この絵本を作成しました。
「大人から子どもまで読んでほしい。そして、『個性』を大切にしてほしい」との思いを持って、絵本制作委員みんなで大切に作りました。

Q：様々なところで講演活動をされていますが、きらっとぴあで行った講演会の意味合いをご自身ではいかがお考えでしょうか？

A：まずは、たくさんの方にこんな生き方があるんだってことを知っていただきたいと思い、今回講演会をさせていただきました。僕自身の話を聞いてくださった誰かの、勇気や希望になれば嬉しいと思います。また、一人でも多くの方が自分自身の個性を大切にできるように、周囲の人々の理解を促す力になればいいなと思います。そんな思いでお話をさせていただきました。

参加者からの感想にもありますが、竹紫さんのお話からは「知ってほしい」という強いパッションを感じました。理解するためにはまず知ることです。それが偏見や差別をなくす第一歩だと思います。
きらっとぴあでは、今後も知るための様々な講座を実施していきたいと思っています。

※「LGBT」とは
レスビアン(Lesbian)、ゲイ(Gay)、バイセクシャル(Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)の頭文字で、多様な性のあり方を表す言葉。レスビアンは女性の同性愛者、ゲイは男性の同性愛者、バイセクシャルは両性愛者、トランスジェンダーは「身体の性」と「心の性」が一致しないため、「身体の性」に違和感をもつ人のこと。

「竹紫春翔さんの講演会」に参加された方の感想

「LGBT 当事者がみんなに知ってほしいこと」を受講して

LGBTという言葉は社会に浸透しつつあり、当事者が様々な場面で遭遇する困難を紙面やテレビで知る機会も増えました。先日の有名人の結婚解消の裏側にもLGBTが関係しており、影響力のある人が自身の想いを話すことは社会のLGBTへの理解が深まる追い風になるのではないかと感じました。私も当事者のお一人である竹紫春翔さんの生の声を聴いて、理解を深めようとの講演会に参加しました。

講演の中で竹紫さんが何度も「救われた」という言葉を使われたことや、伝えたいというあふれんばかりの想いと熱量に、竹紫さんのこれまでの一時も心がゆるむことなく張り詰め続けた人生を、想像せずにはいられません。お話の内容は過酷なものでしたが、それを話す竹紫さんはバイタリティーにあふれ、私は自然と竹紫さんを男性か女性かという視点で見ず、一人の人間として、その存在を感じていました。

私が想像できるLGBTのみなさんの生きづらさは、トイレや浴場といった表面的な範囲のものでした。でも実際は、私たちが何気なく利用している病院での患者呼び出しや問診票の答えづらい項目、体の性別による健康診断の内容の違いなど、多方面においてまだまだ多くの問題があることに気が付きました。

先日の朝日新聞に、『医療者に「性多様性の学び」を呼び掛ける内科医』が取り上げられていました。ご本人もバイセクシャルだということでした。少しずつでも社会が動き出していることを感じられ、嬉しかったです。このようにLGBTと深く関わりのある専門性の高い立場の方が広く公表して活動することができる世の中は、それ以外の私たちも自分らしく生きることができ世の中へとつながっていきます。

さらに、私たちには想像力が必要です。すべての人が尊重される社会にするにはLGBTに関してだけでなく、世の中をもっと広く知る必要があると思います。性別で分けるだけで済むことはありません。人は一人一人境遇や立場も違って、考え方も様々なのです。知ることと理解することは違います。家族であってもお互いに理解しあうことは難しいように、LGBTという個性をそうでない人が理解することは難しいかもしれません。ただ存在を知り、想像し、考えることが大切であり、それは私たちが簡単にできることなのではないかと思っています。

竹紫さんのお話を聴けたことは、とても貴重な体験でした。きらっとぴあのみなさん、竹紫さん、ありがとうございました。すべての人がありのままにいられるように、心から願います。

きらっとぴあアンバサダー1期生 波多辺 真伊

「竹紫春翔さんのお話を聞いて」

『〇〇だからこう、こうであるのが普通』という考え方は、みんなが過ごしやすい社会には向いていないと思いました。こういう考えを押しつけられると、押しつけた人が思っている以上に、押しつけられた人は、不快に思ったり、生きるのがつらくなったりする場合があります。でもそう感じるはその人がおかしいからではなくて、ひとりひとりの個性を尊重していないからだということが分かりました。

傷つく人もいるのに、まだまだ『〇〇はこうであるのが普通』と決めつけてしまっている人もいますから、まず、いろんな考えを知ることが大切だと思いました。

私は周囲の人がどう接するかが大切で、生きやすいか生きにくいかは接し方で変わると思います。自分と意見が違うからといって差別をしたりしないで、他の人の意見も尊重できるようになりたいです。

波多辺 薫子（中学1年生）

【編集後記】

竹紫春翔さんの一番伝えたいことは「『個性』を大切にしてほしい」ということ。このコメントを聞いて、金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」という詩を思い出しました。この詩は「命あるなしにかかわらず、地球上全てのものは同等の価値を持っていて、それぞれに個性があるがそれに優劣をつけずお互いを尊重しよう」という詩です。竹紫さんの伝えたいことと同じだと感じました。

竹紫さんは「絵本にすることで、小さな子どもにも知ってもらいたい」とお話されていました。今回の講演会を行うにあたり、市内の小中学校・府立狭山高校にチラシを配布しました。わずかな人数でしたが、若い学生さん達も参加してくださったことは、とても意義のあることだったと思います。幼い頃から「みんなちがってみんないい」と偏見を持つことなく、自分に自信を持って生きていける世の中であってほしいと思います。

(A)



竹紫春翔さんの 絵本紹介

「せかいにひとりだけのぼく」を読んで



せかいにひとりだけのぼく
竹紫春翔 文
Haiji 絵
みらいパブリッシング

作者が小さい頃から感じていた違和感や苦悩の日々…。けれど、そのままの自分を受け入れてくれる人がいること、嘘のない生き方ができることを、この絵本は教えてくれます。

絵本という形にしたのは、心と体の違和感はまだ絵本を手にとるような年齢の頃から感じるものなのだという経験からなのではないかと思います。

「あなたが悪いんじゃないよ」「大丈夫」と伝えたい、少しでも辛い思いをする子どもたちが減って欲しいと願う著者の気持ちが伝わってくる絵本です。皆が自分らしく生きられる世の中になることを、私も心から願います。

きらっとぴあアンバサダー1期生 横山 華奈子

きらっとぴあには、他にも セクシャルマイノリティに関連した図書もあります♡



総務部長はトランスジェンダー
父として、女として
岡部鈴 著
文藝春秋



にしじろのしあわせ
～マーロン・ブンドのあるいちにち～
マーロン・ブンドとジル・トウイス 著
EGケラー 絵 服部理佳 訳
岩崎書店



男でも女でもない性
インターセックス（半陰陽）を生きる
橋本秀雄 著
青弓社



講座のご案内

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、中止または延期する場合があります

男性講座

今日からあなたも マジシャン!!

日程 2022年11月23日(祝)
時間 13:00～15:00

場 所 大阪狭山市役所南館2階講堂(SAYAKAホール南側)
対 象 16歳以上の男性(市内に居住の方優先)
定 員 15名程度(先着順)
材料費 300円(実費徴収)

(お釣りのないようご用意ください)
申込み 11月2日(水)10時から18日(金)17時まで受付
市外の方は11月8日(火)10時から18日(金)17時まで受付
直接または電話できらっとぴあまで
(講座名・住所・氏名・年齢・電話番号)

※こちらはメールでの受付はしておりません



なにがおこるか・・・お楽しみ!
簡単に出来るマジックを覚えて
家族や友達をびっくりさせませんか

講師 アミーゴ川添さん
(大阪狭山市人権擁護委員)

